

あなたも参加できる バリアフリーマップ



A J U自立の家では、当事者参加型のバリアフリーマップ Town Walker (タウンウォーカー)を開発しました。パソコンやスマートフォンなど使い慣れた端末で、知りたい時に現在位置を中心に調べることができ、また、ユーザー自身が使い勝手を投稿できる、これまでにない新しい特長をもつマップです。その特長と使い方を紹介します。

みなさんもぜひお試しください。 <http://bfmap.info/>

特長 1 双方向性

第1の特長は当事者が参加するマップであることです。

従来のバリアフリーマップの多くは、マップ作成者と利用者とは完全に分かれていました。また、バリアフリーに関する情報は、建物の設置者や管理者が提供するものであったため、バリアフリーマークが付いていても実際には使いにくいものが多かったり、逆に、バリアフリーを謳っていても車いすユーザーが使えるものがあり、それらの情報は埋もれていました。

Town Walker では、バリアフリー設備の使い勝手を利用者自身が評価し、投稿する機能があり

ます。施設管理者や設置者、設計者、デザイナー等への当事者からのフィードバックと、設備等の改善や今後の設計等への反映が期待されます。

特長 2 汎用性

第2の特長は、使い慣れた端末で、使いたい時にアクセスできることです。パソコンだけでなく、急速に普及の進むスマートフォン、携帯からのアクセスが可能です。

これまでのバリアフリーマップの多くは、外出前に訪問先でのバリアフリー動線(エレベータの位置等)やトイレの情報などを調べるのに使用されていました。名古屋市内では今や2000箇所を超える多目的トイレがあり、地下鉄も全駅に基本的

的にエレベータが設置され、市バスもすべてがノンステップバスになろうとしています。以前のように、入念に調べなくても、とりあえず出かけられるようになりました。

携帯電話やスマートフォンの普及により、一般の人も出先で近隣のスポットを調べながら行動することが増えています。バリアフリー情報についても、出先で、困った時に調べるといったスタイルが求められており、Town Walker はそうした使い方を想定しています。GPS機能付きの端末を使うことで、現在の居場所を中心にした情報を得ることが可能となりました。



特長 3 即時性



データを即座に更新できるのも Town Walker の特長です。

従来の冊子版のバリアフリー情報の場合、発行した瞬間から情報の陳腐化が始まりました。なくなった建物がいつまでも載っていたり、新しい施設や設備が増えても、次に発行

されるまで反映されることはありませんでした。

Town Walker ではより新鮮な、よりきめ細やかな情報が提供されます。

最近では、地下鉄駅におけるエレベータの点検工事の情報や、事故等による不通の情報などが、当事者間のクチコミで広まるようになってきました。知り得た人とその知人の間で交わされていた情報は、実は他の人にとっても有用であることが多いものです。よりリアルタイムな情報を発信したり、共有できるのも Town Walker の特長です。

特長 4 拡張性と相互分散運用性

Town Walker では、国や自治体、大学や研究機関等が公開するさまざまな災害リスク情報を取り込み、重ね合わせることが可能です。例えば、自治体が発表する地震や水害のハザードマップや、避難所マップ、さらには発災時の救援情報な



どです。

いくつかの機関が管理するマップ情報を、必要な時に共有することにより、例えば、災害時の被害状況(予測)マップ、避難所マップ、避難生活支援マップ等を重ね合わせ、外出支援以外の用途に展開することが可能となります。

今回は名古屋市内を対象としたマップですが、他の自治体の情報を載せることも可能です。同一の仕組みを使うことにより、日本全国で共通のマップシステムを使用することができ、外部から訪れた人も使えることがミソです。必要に応じて情報を拡張し、帰宅困難者の支援や外部からの被災地支援のツールとしての活用が期待されます。

特長 5 地域協働のツールとして

出会い頭の事故多発ポイント、ひったくりの起きた場所、過去に水が浸かったことがある場所など、地元ならではの知恵や言い伝えを集積し、後世へ伝えることができます。また、子育て支援マップ、AEDマップとして活用することにより、さまざまな地域協働をはぐくむツールとしての活用も期待されます。



当事者が利用することで街は使いやすくなる

名古屋市では、1975（昭和50）年より障害当事者団体に委託して、障害当事者の視点によるバリアフリー調査を行い、これまでは主に「遊 You なごや」という冊子で11作が発行されてきました。37年前から一貫しているのは、バリアフリー情報はそれを必要とする人が評価しないと本物の情報は得られないということ。バリアがあるところも、当事者が何度も利用することで、人の意識が変わり、建物も交通機関も使いやすくなっていくという信念です。

今回の Town Walker では、37年間に蓄積したデータをもとに、新たに名古屋市内の地下鉄駅と郵便局を追加調査しました。主に名古屋市内を対象としてスタートしましたが、今後順次エリアを拡張する予定です。

（平成23年度年賀寄附金配分事業による助成事業）

動作環境

Town Walker を快適にご利用いただくために、動作環境と設定をご確認ください。推奨環境以外からのご利用の場合、正常にご利用いただけない可能性がございます。

パソコンについて

- OS : WindowsXP・Vista・Windows7
- ブラウザ : Windows 版 Microsoft Internet Explorer 7.0、8.0、9.0

スマートフォンについて

- iPhone : iOS 標準の Safari
- Android : Android 2.2 以上 標準のブラウザ

使い方

パソコン、スマートフォン、携帯電話等から以下のURLにアクセスします。

<http://bfmap.info/>



画面はスマートフォン用のものです。

■ ホーム画面



- Town Walker のトップ画面です。
- 「メニュー」ボタンでジャンル選択画面に進みます。
- ログインをすると、コメントの投稿等が行えるようになります。ログインしなくても、データの検索、閲覧はできます。
- 初めてログインする場合は「アカウントの作成」を選択します。
- メールによるお問い合わせはこちらから。

■ メニュー画面（ジャンル選択）



- 掲載データはジャンルという形で分類されており、マップ側でもジャンル別に一覧や地図表示を行うことができます。
- ジャンル名をタップすると該当する施設情報一覧が表示されます。
- 1ページに全ジャンルが収まらない場合、画面下部にページャが表示され、ページ送りが可能となります。

施設一覧画面



- ジャンル選択画面からジャンルを選択すると、該当するジャンルに登録された施設一覧画面に遷移します。
- 施設一覧は指定地点(現在地)からの距離の近いものから順に表示されます。デフォルトでは現在地からの距離順で表示されず、特定の住所を指定することもできます。
- これをクリックすることでお気に入りに登録され、次回からレイヤー一覧画面のトップに表示されます。
- 1ページに全施設が収まらない場合は画面下部にページャが表示され、ページ送りが可能となります。
- 任意の施設をタップすると施設詳細情報画面に遷移します。
- 「地図で見る」ボタンをタップすると該当データの地図表示画面に遷移します。

施設詳細画面



- 施設選択画面から任意の施設を選択するか、地図表示画面から任意の施設アイコンをクリックすることで施設詳細情報画面に遷移します。
- 施設詳細情報画面では、マップに登録された施設にひもづけられた情報の全てを参照することができます。
- 画面下部には地図が表示され、該当する施設と現在位置のアイコンが表示されます。

